

No21 音楽リトミック

義高 互

意欲的な子供たちの表現活動を求めて 実態把握から特支教育の場合 通常の教育と違うところはの
一つは教育活動の予測がしにくい事があります。
実態は こう活動すれば、こうなるだろうとの予測が
難しいです。なので個別に支援計画のようなものがある
のでしょう。その中で実態把握は必要だと思います。

こういう教育活動がしたい。その時は、今はどんな
状態でこう教育活動すればこうなるだろうという
実態把握からの予測が必要だと思います。
実態把握や支援計画は授業に生かして意味がでます。
紙面だけでは用はたさないと思います。
私は支援学校時代 音楽担当をしていました。皆さん
に意外だと言われていました。

その時、音楽を提示して子供たちが自由に身体表現
をする。リトミックをしようと考えました。
本来なら音楽で自由に動くものだそうですが、支援
学校ではある程度パターン化が必要だと感じていま
した。

特に中学部全体ですとしたり、集団として音楽
でどう動けるのか？ どういう動きができるのか？
どこまで動きを広げて表現ができるのか？ 勘に頼ら
ず実態把握をしてみました。

まず。集団ではどういう動きになるのか、一人一
人は何の動きが何人出来るか把握してみました。

それがこのグラフです。どの動きだと何人動け
るか。動ける動きからリストアップしていきまし
た。

次に何種類までなら何人動けるか実態把握して
みました。集団でより動き、みんなが参加できる種
類を探ると5, 6種類までなら多くの生徒が動けるこ
とがわかりました。

そして活動すれば動ける種類が増えていきそうなこ
ともわかりました。

このリトミック・リズム運動は音楽の冒頭で自由に
動いてみて意欲を高める導入として使ってみました。

意欲的な表現活動

意欲的な子供たちの表現活動を求めて

リトミック・リズム運動



意欲的な子供たちの表現活動を求めて

リトミック・リズム運動

音楽に合わせた表現活動
意欲・表現力・音楽性を養う



意欲的な子供たちの表現活動を求めて

教育活動と効果の予想 難しい

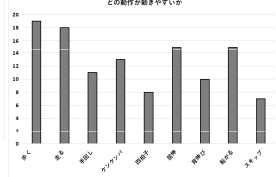


実態把握 個別の支援計画

授業に生かす

意欲的な子供たちの表現活動を求めて

どの動作が動きやすいか

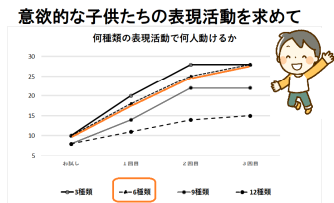


音楽で定期的に使いましたので 公開研でも活動し、指導案も残っています。

実態把握グラフや指導案だけでは想像つきませんね。実際の短い映像がわずかに残っていたのでご覧ください。

ピアノを弾いているのが私です。

今見るとつたない部分もあります。皆さんは実態把握と指導計画を授業に有効に使っていますか？



意欲的な子供たちの表現活動を求めて

中学部合同 音楽科学習指導案

日時 平成5年6月25日(金) 9:20~10:05
場所 集会室

指導者 MT 髙橋
ST田中 奥山 庄司 三沢 高橋

1、単元名 楽しく動こう

2、目標

- 音楽に合わせて楽しく身体を動かしながら、リズム感を養う。
- みんなで歌ったり踊ったりする楽しさを味わいながら、表現能力を高める。

3、指導過程

活動内容	指導上の留意点
1 リズム運動をする。	＝ピアノに合わせて、歩く、走る、ケンケンパー、2拍子打ち、3拍子打ちなどのリズム運動をする。 ☆リズムに合わせて、さびさびと動きをかえることができたか。

END

